



第19回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
アジア大会 金賞、ソリスト賞

中島 結里愛さん

(一宮小学校3年生)

ピアノ教室の先生である母の影響で、幼い頃からピアノを始める。徐々に頭角を現わし、昨年8月に国内最大のピアノコンクールとされる「ピティナ・ピアノ・コンペ全国決勝大会」に出場し、1・2年生以下の部門で銅賞を受賞。今年1月に神奈川県で開催された「第19回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA」では、全国大会とアジア大会の1・2年生部門に出場し、ともに最高賞である金賞を受賞。アジア大会では、各部門から1人のみ選ばれるソリスト賞にも選ばれるなど、演奏技術・表現力ともに高い評価を得ている。



▲ふれあいコンサート(3月24日:大田)に出演する中島さん



ピアノを始めたきっかけは?

赤ちゃんの頃から、本物のピアノをおもちゃとして遊んでいたと聞きました。小さい頃から遊びとして弾いていたので、今もピアノを演奏することが楽しいです。

ピアノはいろいろな音が出せる楽器なので、自分が思うような音色が出せると、とてもうれしいです。

練習はどのくらいしていますか?

平日は1~2時間、休日は3~4時間練習しています。練習していて思ったように弾けないと、悔しくて泣いたこともあります。家族やピアノの先生、応援してくれる友だちがいるので、もっと練習を頑張ろうと思うことができます。

第19回ショパン国際コンクール in ASIA大会で金賞とソリスト賞を受賞した感想は?

たくさん練習したので、とてもうれしかったです。大会に向けて、8月頃から練習を始めました。これまでいろいろな大会や演奏会に出ていたので、本番では全然緊張せずに演奏することができました。

金賞を受賞したことを聞いて、ビックリして夢みたいでした。さらにソリスト賞の受賞を聞き「本当にわたしなの?」と思いました。

今後の目標は?

みんなの心を癒やし、楽しませることができるとなりたいです。コンクールや演奏会に出るときには、ぜひ聴きにきてください。これからも応援をよろしくお願いいたします。

子どもの卒業式に出席した時、ひよっとしたらわたしも広報担当を卒業するのではないだろうか...と思いましたが、卒業は雨さんでした。6月号からは新体制で取材や編集を行います。より一層、皆さんに親しまれる広報紙作りに取り組んでいきますので、インタビューなどご協力をよろしくお願いいたします。(㊟)

春は出会いと別れの季節と言いますが、今回がわたしにとって最後のつばやき編集室になります。この仕事を通じて多くの人に出会い、津山の魅力に触れたことは、大きな財産となりました。雨男だと言われていましたが取材に行く行事では雨が降ることの方が少なかったです。一体誰が雨男か雨女か。(雨)

平成27~29年度の3年間続いたW・雨・の取材体制。このたび雨さんが人事異動で入れ替わりました。取材先で新しい顔を見掛けたら、ぜひ、声を掛けてください。26年度から広報に配属となったわたしも、カメラの使い方や写真の撮り方などを皆さんから教えていただいていた慣れたなあとしみじみ。(W)

